

地域材利用拡大連携協議会開催（木産協主催）（3/19(月)）

地域材の利用拡大に向け【木産協】で展開している事業の成果を検証し、令和6年度の事業展開についてアドバイスをいただく【標記協議会】が、3月19日（月）に山形市内で開催されました。

県産木材製品の高度化に向けた普及啓発（※）や、一般住宅や民間施設における県産木材のシェア（使用率）向上に向けて木材業界が主役となって取り組んでいる事業展開について報告し、ご意見をいただきました。

（※）→（JAS 構造材実証支援事業、木材流通における転換促進事業など）

また、関連して、【花粉症対策】をテーマにした情報提供も行われ、山形県森林研究研修センターの「渡部研究企画部長」からは【山形県における花粉症対策の研究】について、「木産協事務局」からは、令和6年度に向けた【花粉症対策のスギ材の利用拡大】の事業展開の方向性について報告しました。

最後に、県森林ノミクス推進課、県建築住宅課の主要事業のご紹介をいただき、情報共有を図ったところです。



【アドバイザー】

県森林ノミクス推進課長、県建築住宅課長、県森林研究研修センター所長ほかの皆様

（主な意見）

- 県産原木の流通・ストック情報など製材用原木が購入しやすくなる仕組みづくりが（引き続き）課題
- 木材製品の【強度表示】に対応した【原木段階】からの強度測定による製品の差別化の検討に期待
- 住宅分野においては着工数が確実に激減する。そのため、**非住宅分野・内装材・土木用資材・外構部材など様々な分野で地域材を利用拡大していく（方針）**を示し、**官民一体となった新たな事業展開が急務**
- 県内の木造住宅建築動向を踏まえた新築・リフォームなど補助支援制度を差別化して周知すべき
- 【花粉症対策】については、行政サイドで「川上から川下までどのような施策展開を図るか」対策の全体像の提示を！

【お知らせ】木産協総会並びに創設50周年記念式典（よろしくお願ひします）

当協同組合は、山形県製材協同組合の設立(昭和49年4月)から数えて、今年（令和6年4月1日）で50周年となることから、昨年12月の木産協：理事会での決定に基づき、令和6年度【組合総会】と併せて【記念式典】を開催することで準備を進めております。詳細は、4月24日（水）に開催予定の【理事会】において決定されます。

是非、【組合員】の皆様が【ご参加】していただけますようご案内いたします。

（1）日時 令和6年5月22日（水）15時～組合総会 16時～16時30分記念式典

※17時から【懇談会】を開催予定

（2）会場 ホテルメトロポリタン山形 3F 霞城の間（山形市）

【正式には理事会終了後にご案内いたします】

令和6年能登半島地震災害見舞金のお礼

令和6年能登半島地震災害見舞金につきましては、多数の組合員の皆様のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。お寄せいただいた見舞金は、一般社団法人全国木材組合連合会にお渡しさせていただきました。今後、石川県木材産業振興会等を通じ被災した組合員等にお届けすることになります。皆様から頂きました温かいお気持ちが被災された方々への大きな励ましになるものと確信しております。この度お寄せいただきましたご恩情に対しまして、【重ねて】お礼申し上げます。

皆様からお預かりした総額【80万円】の「見舞金の支援」に感謝いたします。

新春 木造建築・木材流通セミナー開催（1/22(月)）

本組合（利用センター）では、これからの木造建築への国産の木質部材の供給や、効率的な木材流通の仕組み等を検討するため各種補助事業等を活用しながら、各種ソフト事業を展開しているところです。

その取り組みの一つとして、【木造建築・木材流通セミナー】を山形市内で開催しました。

第1部においては、東京都市大学/名誉教授 大橋好光（おおはしよしみつ）氏から、【中低層建築物の木造化のすすめ】 【四号廃止・ZEH性能壁量】と題して、2つのご講演をいただきました。

低層小中規模の木造設計モデルなど、ウッド・チェンジ協議会での具体的検討事例を踏まえた木造建築の提案や、建築基準法の改正等を踏まえたこれからの木造建築について、最新の状況を踏まえた情報提供がありました。

第2部においては、パワープレイス(株) 谷知大輔（たにちだいすけ）氏より【タニチシステムによる地域材の利用拡大】と題して、**地域材流通の拡大に向けた素材生産者や製材業者も含めた取り組み事例の紹介**が行われました。



当日の配布資料、作成パンフなど
今後の総会等で配布いたします。

※ **主催** 山形県木材産業協同組合、やまがた県産木材利用センター、山形県 JAS 製材連絡協議会、山形県プレカット協会

※ **参集者** 木産協及び利用センター関連の 【製材・木材流通関係者・建築設計・工務店】等 の皆様

新春 森林資源循環利用セミナー開催（1/26(金)）

木産協（山形県森林資源循環利用促進協議会）では、毎年1月に、会員相互の親睦・情報交換と技術研修を目的に新春研修会を開催しております。今年度は、2つの項目をテーマに【情報提供】をいただきました。

【情報提供①】「県産広葉樹の利活用の推進」をテーマに、広葉樹を暮らしに活かす山形の会：代表 佐藤恒治（さとうこうじ）氏より、**本県の【魅力ある資源】広葉樹材の利用拡大についての提案等**をいただきました。

【情報提供②】「最上村山国有林の森林計画の見直しについて」、東北森林管理局：山形森林管理署長：益田健太（ますだけんた）氏より、**民国連携による素材生産体制の確立に向けた様々など提案、情報提供等**をいただきました。（参集者：協議会メンバーのほか、協和木材(株)新庄工場等関係者の皆様）



トピック 【顔の見える木材供給体制構築】に向けた取組事例（全木連より情報提供）→これからの原木の効率的な確保がテーマ

「持続性が確保された木材流通のための立木取引(マッチング)の場の構築」の成果報告書：公表

（一社）国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会 2024.2.2 → https://www.kokusanzaikatuyo.jp/news/11_index_detail.php

持続的な経営が確実に行われる森林の立木価値が適正に評価される、オープンな取引引きを目指し「インターネット上で行う立木取引の流れの整理とそれに沿ったウェブサイトの構築」などの検討内容が報告書として公表されました。

【やまがた木造設計マイスター養成講座】修了式開催

(令和6年3月3日開催)

県が主催し、やまがた県産木材利用センターが運営して開催された「やまがた木造設計マイスター」養成講座の最終回と修了式が、山形市内で行われ、講座で木造建築に関する知識を深めた受講者24人に認定証が交付されました。

【中央で活躍する有名建築士】を講師に招き、県内の1級建築士が昨年11月から座学や演習でノウハウを学んできました。最終日は、講座で与えられた設計課題に対し、班ごとに考案した内容を発表。【(株) 奏・伊藤設計 (山形市)】の高橋友紀氏が代表で認定書を受領しました。

<https://www.pref.yamagata.jp/sangyo/nourinsuisangyoku/ringyo/kensammokuzai/index.html>

(県HP：県産木材の率先利用：(やまがた木造設計マイスター)のページで「令和5年度認定者名簿」閲覧可能)



製材工場【おきたま木材乾燥センター】視察

(令和6年1月29日開催)

第5回「やまがた木造設計マイスター」養成講座において、受講者24名の建築士の皆様が参加して、機械等級区分構造用製材のJAS認証工場(おきたま木材乾燥センター(株))の現地視察が行われました。

視察においては、【原木置き場】→【製材ライン】→【木材乾燥設備】→【乾燥仕上げライン】(かなん盤・含水率計・グレーディング・仕上げ)と順に製材工程の説明を受け、【現場に搬入される印字された製材品】になるまでの加工ラインを見学していただきました。

建築基準法の改正に伴い【強度性能】に注目が集まっていますが、初めて製材工程を見学する方が多く、建築用部材の認識が深まったとのこと。



令和6年度【県：森林ノミクス推進課】(予算概要)

(令和6年3月19日の地域協議会で公表)

令和6年3月19日に開催された【地域協議会】で情報提供がありました。事業についての問い合わせがある場合は、県担当者にお繋ぎますので**ご連絡ください**。

＝ 木材関連事業概要 ＝

- 【県産木材の加工流通体制の強化】
(木材輸送用グラッフル付きトラック等の購入支援)
- 【県産木材の付加価値向上】
(やまがたの木認証材活用：一般住宅支援)
(丸太強度の把握による製材歩留まりの向上調査) **新規**
(県産広葉樹製品の保管施設等の整備)
- 【公共・民間施設の木造化の推進】
(やまがたの木認証材活用：民間施設支援)
(中大規模木造設計を担う人材育成)
(民間建築物の内装木質化支援) **新規**
- 【県産木材の活用促進】
(山形県林業まつりの実施)
(県林工連携コンソーシアムによる製品開発支援)
(広葉樹製品等の販路拡大に向けた展示会支援)



木のある暮らし・木の街づくり WEB マガジン

(令和6年3月15日：最終更新)

注目が高まるウッドフェンスや人気のウッドデッキのお手入れやメリット、DIYから、木の街づくりについての最新トレンドまで、木のある暮らしを応援するサイト特設サイトが開設されています。(是非、サイトを覗いてみてください)



木に変える。みんなも変わる!

Love Kinohei

「知る」「見る」「行動する」みんなでお楽しむ、木のある暮らし。

<https://love.kinohei.jp/> (木のある暮らし・木の街づくり Q&A)

令和5年度やまがたの木普及・利用促進事業【現地調査】

(令和6年3月末)

やまがた県産木材利用センターが昨年度に【現地調査】を行った実績について情報提供いたします。

県産木材を利用した住宅着工の年間の推移として確認願います。(報告)

令和5年度やまがたの木安定流通支援事業「現場検査月別実績一覧表：やまがたの木普及・利用促進」							
月	村山	最上	置賜	庄内	計	県産木材	うち民間
4	1	0	1	10	12	137.3	1
5	3	2	5	10	20	305.5	2
6	8	2	0	8	18	258.1	1
7	7	3	4	10	24	391.3	
8	7	0	5	11	23	322.8	
9	10	2	8	11	31	443.6	1
10	9	0	4	5	18	270.7	2
11	1	0	1	5	7	137.2	
12	2	1	1	3	7	102.6	
1	1	0	1	1	3	40	
2	3			1	4	46.3	
計	52	10	30	75	167	2455.4	7

単位：件数、m³ ※民間施設：村山2、置賜3、庄内2

令和6年度【国土交通省】関係

(令和6年2月HPで公表)

国産木材活用住宅ラベル協議会（ハウスメーカー・工務店関係団体等から構成）が国産木材活用住宅ラベルにより、カーボンニュートラルや花粉症対策への貢献を表示する【**スギ等の国産木材を活用した住宅の表示制度**】を創設しました。国産木材の活用に関する企業行動を「見える化」し、スギの伐採促進による花粉症対策などに寄与することが狙いです。

<https://kokusanmokuzai.jp/index.html>

表示ラベル



住宅事業者

→SDGs 貢献

消費者

→住宅選択判断



《木材関係パンフレットのお知らせ（全木連）》

(令和6年3月末)

「安心・安全の国産 JAS 構造材」が発刊

建築基準法の改正等一般住宅を含む木造建築の基準が見直される中、関係者も含めて情報共有をお願いいたします。

下記 HP で PDF をダウンロード

<https://love.kinohei.jp/jas-book/>



「タテッカーナ（山形県住宅情報総合サイト）」に掲載

令和6年度の山形県の住宅支援制度等の資料等が掲載されました。詳しくは下記ホームページを確認願います。

<https://www.pref.yamagata.jp/180025/kurashi/sumai/jutakushien/r6jutakushien.html>

※県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業も掲載されています。

発刊：山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41

TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699

URL: <https://www.mokusankyo.jp>

E-mail: yamawood@mokusankyo.com

【4月以降の日程（木産協・利用センター）】

(令和6年3月31日：最終更新)

【木産協】

【理事会】 ●日時：令和6年4月24日（水）15時～16時30分
●会場：パレスグランデール 2F ブリリアント

【総会】50周年記念大会
●日時：令和6年5月22日（水）15時～16時30分
●会場：ホテルメトロポリタン山形 3F 霞城の間

【利用センター】

【理事会】 ●日時：令和6年5月14日（火）13時30分～15時
●会場：山形県産業創造支援センター第1・2会議室

【総会】 ●日時：令和5年6月4日（火）15時～
●会場：山形市内【会議室】（詳細調整）

【県：森林ノミクス推進課関係幹部人事異動情報(4/1)】

- 【県庁：森林ノミクス推進課】
森林活用推進主幹 佐藤典生 ←（前職）県庁：森林保全主幹
- 【村山総合支庁：森林整備課】
森林整備課長 小畑 義一 ←（前職）県庁：森林活用推進主幹
- 【最上総合支庁：森林整備課】
森林整備課長 志藤 彰 ←（前職）県庁：みどり県民活動推進主幹
- 【置賜総合支庁：森林整備課】
森林整備課長 森川 東太 ←（前職）森林センター：林業経営主幹
- 【庄内総合支庁：森林整備課】
森林整備課長 伊藤 聡 ←（前職）森林センター：研究主幹

【お知らせ】「木産協だより」で情報提供してきた【**県内住宅着工情報**】は今年度から木産協のHPに掲載します。（4月中旬に掲載）。